

地域の行事や身近な話題、耳寄りな情報をお待ちしています!

広報誌への問い合わせ、取材依頼は…
役場企画財政課広報統計係 ☎(86)1134[直通]

川床小学校で焼き芋、餅つき体験

地元の食を味わう

川床小学校（内村英人校長・92人）では、12月14日、焼き芋づくりと餅つき体験がありました。

これは、子どもたちに地元の食材を生産し、作物をつくる喜びを味わってもらうことを目的に、毎年行っているものです。今回は児童が自ら収穫したサツマイモと米で実施されました。

保護者や地元住民らの手ほどきを受けながら、1、2年生31人が焼き芋づくり、3、4年生35人が餅つきを行いました。

4年生の宮内優希君は「きねが重かった。皆で食べるお餅はおいしかった」と笑顔を見せました。



↑きねを交互にふるい、ペタンと餅をつく児童たち

行人岳運営委員会が寄付

地域のために役立てて

12月23日、行人岳不動明王廟運営委員会から川添町長へ、寄付金が手渡されました。

これは12月26日の町道行人岳線開通記念日に合わせての贈呈です。

阿多靖直委員長は「町道整備の効果で行人岳への観光客が増えている。寄付は景観整備や産業振興など地域のために役立ててほしい」と話しました。



↑川添町長に寄付金を手渡す阿多委員長



↑鰯王を贈る岩下部長

東町漁協青壮年部が歳末慰問

旬のブリを味わって

東町漁協青壮年部は12月23日、高齢者福祉施設にブリを贈呈しました。

この日は岩下幸裕部長が桃源郷やあかね園、長生園、スマイル園、さざ波の5施設を慰問し、養殖ブリ「鰯王」を届けました。

長生園では、岩下部長が「いつまでも元気で長生きして」とあいさつ。久保チエ子さんは「皆でおいしくいただきます」と笑顔でブリを受け取りました。